

2022年6月5日(日)+録画放送

主催:(一般社団法人)障がい児成長支援協会

共催:オネストリ株式会社 放課後等デイサービス「はぴねす」

保護者のための講演会〈第1部〉

小学校入学までに

身につけておきたい力は何か？

- 加配なしでできる力をつけないと大変ですよ！
- 家庭だけではダメ！外でできる力をつけること！
- 専門機関と連携をとって準備を早くからすること！

(一般社団法人)障がい児成長支援協会 協会長

中部学院大学 山内康彦 (学校心理士・ガイダンスカウンセラー)

1. 加配なしでできる力をつけましょう

保育園等では、特別支援が必要な園児に対して加配（補助指導員）がつきます。

しかし、これが害をなすことがある！

→支援をしすぎて自立できない子

→支援を待って自らやらない子

◎支援がなくてもできる子に！

通常の小学校に入学するためには、まず、自分事が自分一人でできる「身辺自立」の力が必要

2. 外でできて「本物の力」となる

保護者の中には「家ではできる」という方が多くいます。

しかし、外でできて社会に通用する！

→▲家の中ではできる子

→▲園や学校でもできる子

◎外でもどこでもできる子！

社会で生きていく（就労する）ためには、色々な人と交ざって、色々なことができる力が必要

3. 専門機関と連携をとることの重要性

保護者の中には「園や学校でなんとかしてくれる」という方が多くいます。

しかし、専門的な職員は極わずか！

→▲毎年のように変わる担任

→▲長期的な見通しのない指導

◎質のよい継続的な相談と支援

※よい病院や専門家（心理師・士）等とつながる

※児童発達支援や放課後等デイなどの継続的な療育

今日のお話の内容
(子どもたちのためになるお土産を少しでも多くご紹介したい。)



- 1 学校や各種機関等との連携の在り方
- 2 入学までに身につけさせたい『力』
- 3 入学までに身につけさせたい『学習』
- 4 入学までに身につけさせたい『生活』
- 5 入学までに身につけさせたい『仲間』

知らなかったでは済まされない

学校をはじめ各種機関ではもっとよい
様々なサービスを受けることができる
しかし、向こうから教えてくれない！！

→よいサービスは保護者が請求する

なぜ、向こうから教えてくれないか
(※税金の控除も申告制ですね)

全員にそのサービスができないから
※公務員の最大の欠点の一つ！！

◎医者の意見書を使うとよい

知らなかったでは済まされない

☆文句を言う前に情報を知って
「かしこい親」になりましょう

※「個別の支援計画の作成」

保護者と相談のもと学校が中心になって作成。様々な機関も巻き込んで、有効な支援を書類の中に残していく。担当が変わっても残る。

今日のお話の内容
(子どもたちのためになるお土産を少しでも多くご紹介したい。)



- 1 学校や各種機関等との連携の在り方
- 2 入学までに身につけさせたい『力』
- 3 入学までに身につけさせたい『学習』
- 4 入学までに身につけさせたい『生活』
- 5 入学までに身につけさせたい『仲間』

小学校のうちに身につけさせたいこと

『学習能力』と『適応能力』

1 学習能力→『学校の勉強』『知能指数』

2 適応能力→『社会性』

◎両方大切ではあるが

まず大切なのは**適応能力（社会性）**

では、その大切と言われる

適応能力（社会性）とは何か？

恐るべし！特別支援学校の就職率

■特別支援学校中学部の進学率は、
岐阜県 98.4%（全国 98.3%）

■特別支援学校高等部卒業者の就職率は

岐阜県 38.0%（全国 32.3%）

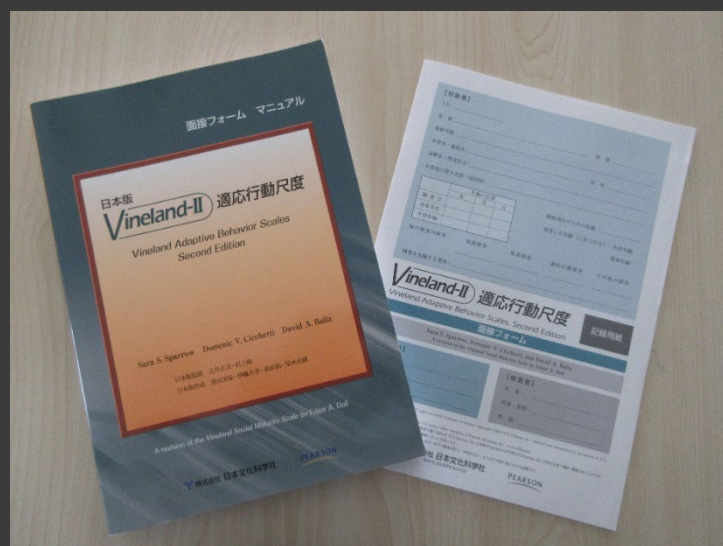
なんと3人に一人しか就職できていない！

これが現実！「保護者として」「学校として」
「行政として」「放デイ」として、今何ができる
のか？を早期から考えていく必要がある。

【一人で生きていくための力(適応能力・社会性)】

ヴァインランドとS-M社会生活能力検査の活用

【厚労省の放課後等デイサービスのガイドラインにも示されている療育の内容】



「ヴァインランドⅡ」 「S-M社会生活能力検査」
※なんと99%の放課後等デイで利用されていない！

まずは、何を身につけることが重要なのか
※0歳～15歳までに身につけたい社会性
～S-M社会生活能力検査から～

- 1 身辺自立
- 2 移動
- 3 作業
- 4 意志交換
- 5 集団参加
- 6 自己統制



就労の違い(山内の指導経験から)

- 養護施設へ行く子
- 作業所へ行く子 (7歳の壁)
- B型事業所へ行く子 (9歳の壁)
- A型事業所へ行く子 (12歳の壁)
- 一般就労できる子 (15歳の壁)

☆最終的に就労できるかどうかは、
『社会性の高さ』で決まる！

どのような基準で分けるのか？

判定は、市町村教育委員会

就学指導委員会・教育支援委員会等の名前

(教育委員会担当職員＋校長会代表＋専門医＋支援学校教員＋発達支援センター＋教育長等)＋保護者の願い等書かれた書類

①身辺自立ができているか。

②知的な遅れがあるか。

③情緒面の問題がないか。

※原則定例・・・臨時も有

今日のお話の内容
(子どもたちのためになるお土産を少しでも多くご紹介したい。)



- 1 学校や各種機関等との連携の在り方
- 2 入学までに身につけさせたい『力』
- 3 入学までに身につけさせたい『学習』
- 4 入学までに身につけさせたい『生活』
- 5 入学までに身につけさせたい『仲間』

学習について① 文具等全般

《文具全般》

- ①キャラクターの文具は罪つくり
- ②消しゴムはシンプルでよく消える物を選ぶ
- ③多機能筆箱は、単なる遊び道具
- ④定規は折れにくいものを選ぶ
- ⑤鉛筆キャップは必要なし。余分な文具は買わない。
- ⑥丸い鉛筆は買わない
- ⑦スティックのりは、白いもの
- ⑧ハサミは、あらかじめ練習しておく
- ⑨鉛筆削りは、自分でできるように
- ⑩シール等で全てに記名する

学習について② 算数

《算数》

- ① 数を正しく数える時は、○でかこう
- ② 1 数を正しく書く・読む(0の読み方や0の書き方)
- ③ 「10ごとにまとめる考え方
- ④ 10のまとまりを○で囲えるようにしておく。
- ⑤ 「前から○番目」「後ろから○人」の経験
- ⑥ 「いくつといくつ」の遊び
- ⑦ たしざんやひきざんは具体物で経験させる。
- ⑧ 時計は日頃から慣れさせておく。
- ⑨ パズルや積み木遊びをたくさん体験させる。
- ⑩ サイコロを使った「双六あそび」の経験

学習について③ 国語

《国語》

- ①じぶんの名前は書けるようにしておきたい
- ②絵本でも図鑑でもよいので本に親しむ習慣
- ③正しい言い方「おとうさん」「たいいく」など
- ④「一～十の読み方」 七は「なな」か「しち」と読む
「ひち」は× 十は、「とお」とも読むが、「とう」は×
- ⑤マスの中に書く
- ⑥鉛筆の正しい持ち方は、補助具で解決。
- ⑦本の持ち方
- ⑧横書きは数字、縦書きは漢字

今日のお話の内容
(子どもたちのためになるお土産を少しでも多くご紹介したい。)



- 1 学校や各種機関等との連携の在り方
- 2 入学までに身につけさせたい『力』
- 3 入学までに身につけさせたい『学習』
- 4 入学までに身につけさせたい『生活』
- 5 入学までに身につけさせたい『仲間』

生活について①

①まずは、健康。「すっきりウンチの生活習慣」
朝起きてからのパターンを同じにする。

夜8時を過ぎたら何も食べない

朝ご飯前に10分動く

朝ご飯は20分かけて食べる

②通学路は入学前に練習して歩く

③トイレへの対応（洋式？和式？）

※足首までズボンを下げなくてもできるようにしておく

④食事の指導（介助なしで食べる）

⑤掃除の指導（ぞうきんのしぼり方など）

⑥自分の机の整理整頓

⑦授業（カバン）の準備の仕方

生活について②

- ⑧ 提出物の出し方
- ⑨ 靴や服、靴下等は自分で脱着
- ⑩ ハンカチやマスクの準備
- ⑪ 気持ちの良いあいさつの仕方
- ⑫ 朝は、自分で起きる
- ⑬ マスクをいやがらない
- ⑭ 正しい手の洗い方
- ⑮ ボタンやピン(場合によっては、紐の結び方)
- ⑯ できることからお手伝い
- ⑰ 水筒は、コップ式の方がよい。
- ⑱ 紙・手紙のたたみ方

生活について③

- ⑱交通安全（横断歩道の渡り方等）
- ⑳お金を払って物を買うこと
- ㉑呼ばれたら「はい」の返事ができる
- ㉒正しい歯磨きの仕方
- ㉓うがいができる
- ㉔カバンにキーホルダー等はつけない。
お守りもカバンの中にしまった方がよい。
- ㉕ご褒美に安易にお金や物を渡さない。
- ㉖ほめ方は、
「位置づけ」「価値付け」「方向づけ」
- ㉗どこでもできるようにすることが大切

今日のお話の内容
(子どもたちのためになるお土産を少しでも多くご紹介したい。)



- 1 学校や各種機関等との連携の在り方
- 2 入学までに身につけさせたい『力』
- 3 入学までに身につけさせたい『学習』
- 4 入学までに身につけさせたい『生活』
- 5 入学までに身につけさせたい『仲間』

仲間について①

《注意》

「ゲーム」や「YouTuber」の子守は厳禁！
将来取り返しの付かないツケがまわってきます

ICD11 (WHOの診断基準)

○アルコール依存症

○ギャンブル依存症

○ゲーム障害(新)……………同じ精神病

つまり、ゲームを毎日3時間する子は、毎日3時間飲酒したり、パチンコするのと同じ！？

仲間について②

いきなり集団に入れてもパニックになるだけ

- ①まずは、1対1でしっかり大人がかかわる
- ②1人の大人に2人の子ども(交代で待つ)
- ③2人の子どもの関わりを大人が観る
- ④3人の子どもの関わりを大人が観る
-人数が増えていく

他に「動物との関わりも有効」

「植物を育てるのも有効」

※生き物と接することが大切

仲間について③

園での“加配支援”の注意

- ▲支援員が卒園までしっかり支援してしまう
 - 小学校では支援員はマンツーマンでつかない
 - 小学校で“できない子”になってしまう

《加配支援の原則》

- ①まずは、支援員と一緒にできる
 - ②支援員が見届け、できないことだけ支援する
 - ③支援員がいなくても1人でできるようにする
- ※本来③をめざすために加配がついている！

質の高い療育を活用！

学童保育や通常の園では

※たくさんの子どもに対して指導員の数が少ない

- ・ 学習の見届けも、活動の見届けも甘い。
- ・ 子どもが多いので、指導員が個に対応できない。

○健全の子は、自らの力で社会性を身につけていく。

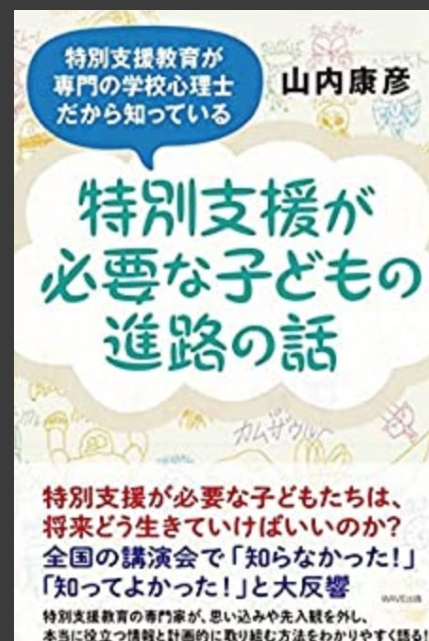
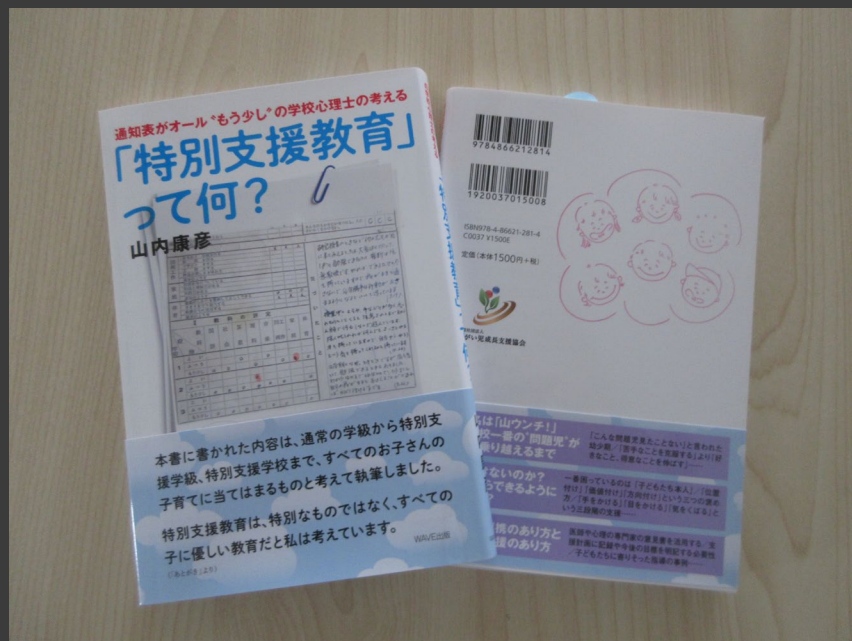
児童発達支援や放課後等デイサービスは . . .

※定員10人に対して 指導員が4～5人

- ・ 学習の見届けも、活動の見届けが充実。
- ・ 職員が多いので、個の対応も可能!!

○特別支援が必要な子は、肯定的に認めてくれる大人のもとで社会性を身につけていく。

困り感を共感的に受け止め、早期から適切な支援を継続的に行うことが大切です



**特別な支援は、もはや特別なものではありません
全ての子どもたちにとってやさしい支援なのです**

ご清聴ありがとうございました。

4月からFMラジオで毎週放送 「山内先生のランチトーク」

4 / 5 ~ 毎週火曜日 12時 ~ 13時

① 「愛知北FM放送」で検索

② 下へ → 「JCB Aで聴く」をクリック

③ 白い “▶マーク” で再生開始!

特別支援に関わる様々なお話を気軽に聴けます。

無料個別相談会を行います
6月25日(土)・26日(日)終日

会場：はびねすジヨブ王禅師
(川崎市麻生区)

※長野や長岡、遠方の方はZOOMに
よる個別相談会可能です！